【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2016-97294(P2016-97294A)
【公開日】平成28年5月30日(2016.5.30)
【年通号数】公開・登録公報2016-033
【出願番号】特願2015-146398(P2015-146398)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　13/69　(2014.01)
Ａ６３Ｆ　13/20　(2014.01)
Ａ６３Ｆ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　13/69　５１０
Ａ６３Ｆ　13/20　Ｚ
Ａ６３Ｆ　9/00　５１２Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月16日(2017.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
データを保持する保持体の該データを読み取る読取部と、
第１物品排出部と、
第２物品排出部と、
を備え、
前記第１物品排出部および前記第２物品排出部は、それぞれ内部に物品を収納可能であり、
前記第１物品排出部は、前記第１物品排出部の内部に収納された物品を排出する第１排出口を有し、
前記第２物品排出部は、前記第２物品排出部の内部に収納された物品を排出する第２排出口を有し、
前記読取部で前記保持体のデータを読み取ることでゲームを実行可能とし、実行されたゲーム結果に基づいて前記第１物品排出部または前記第２物品排出部のいずれかの前記物品の排出を可とする物品排出装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記第１物品排出部は、前記第１物品排出部の内部に収納された物品を排出するための機構部を動作させる第１操作部を有し、
前記第２物品排出部は、前記第２物品排出部の内部に収納された物品を排出するための機構部を動作させる第２操作部を有する物品排出装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２において、
前記第１物品排出部または前記第２物品排出部に前記物品が有る場合に前記ゲームの実行を許可する物品排出装置。
【請求項４】

請求項３において、
前記第１物品排出部および前記第２物品排出部は、前記第１物品排出部および前記第２物品排出部における前記物品の有無を検出する検出部を有し、
前記第１物品排出部および前記第２物品排出部の前記物品の有無を利用者に提示する提示部を備える物品排出装置。
【請求項５】
請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、
前記ゲームは抽選であり、前記第１物品排出部と前記第２物品排出部とで、前記物品の排出を可と判定する確率が異なる物品排出装置。
【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか一項において、
前記ゲームの実行に用いられる前記保持体の数及び該保持体のデータの組み合わせに応じて前記確率が変動する物品排出装置。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一項において、
前記ゲームの実行に用いられた前記保持体の各々を着脱可能に保持する複数の保持部を有する物品排出装置。
【請求項８】
請求項７において、前記保持部は、操作部である物品排出装置。
【請求項９】
請求項１乃至請求項８のいずれか一項において、
前記読取部で読み取った前記保持体のデータに基づいて前記ゲームの実行の可否を判定し、実行可と判定した前記保持体のデータを外部又は内部に設けられる記憶部に記憶し、
前記ゲームの実行の可否の判定において、前記記憶部を参照し、前記読取部で読み取った前記保持体のデータと同一のデータが前記記憶部に記憶されていない場合に実行可と判定し、同一のデータが前記記憶部に記憶されている場合には実行不可と判定する物品排出装置。
【請求項１０】
請求項１乃至請求項９のいずれか一項に記載の物品排出装置に用いられる前記保持体。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、本発明に係る物品排出装置においては、前記物品排出部の各々は、該物品排出部における前記物品の有無を検出する検出部を有し、少なくとも一つの前記物品排出部に前記物品が有る場合に前記ゲームの実行を許可し、全ての前記物品排出部に前記物品が無い場合には前記ゲームの実行を不許可とするようにしてもよい。また、本発明に係る物品排出装置において、前記第１物品排出部は、前記第１物品排出部の内部に収納された物品を排出するための機構部を動作させる第１操作部を有し、前記第２物品排出部は、前記第２物品排出部の内部に収納された物品を排出するための機構部を動作させる第２操作部を有してもよい。また、本発明に係る物品排出装置において、前記第１物品排出部または前記第２物品排出部に前記物品が有る場合に前記ゲームの実行を許可するようにしてもよい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
また、本発明に係る物品排出装置においては、前記物品排出部毎の前記物品の有無を利用者に提示する提示部を備えるようにしてもよい。また、本発明に係る物品排出装置において、前記第１物品排出部および前記第２物品排出部は、前記第１物品排出部および前記第２物品排出部における前記物品の有無を検出する検出部を有し、前記第１物品排出部および前記第２物品排出部の前記物品の有無を利用者に提示する提示部を備えていてもよい。